

静和会 石井病院 院内報

こだま

VOL.31 June, 2017



場所:静岡県 河津桜 撮影:桑原 公

Contents

- ① もの忘れ外来について
- ② 山本医師就任
- ③ 外来ロビーのリニューアル
- ④ 復刻版
パチンコにのめりこむ心理
- ⑤ レクリエーションの紹介

静和会石井病院 病院理念

- 医療の本質を追求し、科学的、創造的かつ主体性のある医療を目指します。
- 「思いやり」「いたわり」「優しさ」を常に忘れず、豊かな人間性で患者さんの主体性を尊重した医療を実践します。
- 保健、医療、福祉との連携を密にし、地域住民に愛され信頼される医療チームを構築します。
- ノーマライゼーションの視点に立ち、社会のニーズに応じた医療を提供します。

もの忘れ外来について

外来支援課長 渡邊 典子

もの忘れは多くの場合、誰しもが日常生活で経験する事として「ついついっかり」と笑い話で受け止められる時もあり、なかなか直ぐに病院を受診しようとは考えないものです。だからこそ、身近に居る家族の方々が、これまでの本人らしからぬ「異変」に気づき、「一度病院で診てもらおうか…?」と、行動をおこされるのではないのでしょうか？

昨今、高齢者事故報道の背景に「認知症？」が見え隠れし、関心度も高くなっています。当院でも早期発見の機会として「もの忘れ外来」を実施していますので、その流れを説明いたします。

一、問診▼同伴された家族の同席で、本人に物忘れの訴えや、日々どのように過ごされているか、本日は誰とどのような方法で来院したのか等、できるだけ具体的に伺っていきます。

(自身は困っていない場合が多いので、生活上の話題を引き出します)

二、聞き取りによる認知症簡易検査と、CTによる画像検査▼本人がこの検査を受けられている間に、家族と面談を行います。その主な内容としては、①本人が先ほど語った内容と実際場面の辻褄が合っているかの確認(記憶力や判断力の程度を知ります)②受診動機とその始まり状況③前兆となる状態(興味、関心が薄れる、出不精になり社会参加等の機会が減る、入浴や着替えを億劫がる、同じことを何度も訊いたりする、不眠・イライラ等)や、その時期④家族が対応に混乱や苦慮した出来事と、その頃の生活環境上の変化⑤これまでの本人らしさとは明らかに違和感のある言動⑥誘因の可能性疾患の有無など。これらは、病気の始まりや重症度の予測の手助けと

なる情報ですので、受診には日頃の本人の様子を知っている方が同伴されるのがよいです。

三、診察▼医師が、家族から本人の家族歴、生活歴の情報を得て、その後本人にその事実確認をしながら、先の間診内容や検査結果を踏まえ診察を行い、年相応の物忘れか、認知症かを判断します。この時、本人の状態を家族がどの様に捉え理解するかが、その後の本人との暮らし方(対応の仕方)に影響を及ぼし、時に本人自身にも生活上の困難さを招いてしまう場合もあるので、家族は日頃の思いや、負担感等も十分率直に医師に伝え、相談されることが大切になります。

もの忘れ外来は、毎週月曜日午後、完全予約制です。希望される方は、予め「相談連携室」までご連絡下さい



医師紹介

やまもと けんじ せんせい
山本 健治 先生

<認定・専門医>

- ★精神保健指定医
- ★日本精神神経学会 精神科医専門医制度 指導医
- ★日本医師会 認定産業医
- ★漢方認定医 プライマリーケア指導医・認定医

<経歴> 札幌医科大学付属病院、名寄市立病院、砂川市立病院、端野病院(北見市)、石橋病院(小樽市)、荻野病院(留萌市)等の勤務を経て、5月1日より当院に赴任されました。

<ひと言> 心は静かな水面のように、行動は即決で。悩む暇があるなら、あらゆる救いを求め毎日生まれ変わるように生かされたいと思っています。そんな気持ちで働いています。



外来ロビーのリニューアルについて



サービス向上委員会委員長
事務課長 三浦 秀紀

今年に入り石井病院内にあるロビーの椅子やテーブルの全面入れ替えを計画し進めてまいりました。四月から五月にかけて全ての交換が終了しましたのでご紹介させていただきます。今回のリニューアルは患者さま、ご家族さま等に快適にご利用いただくために次のとおり構想としてまとめ実行してまいりました。

- ① それぞれがゆとりのある独立的な空間の実現
- ② 質的かつ機能的向上による身体への負担軽減
- ③ 視覚的リラクセス効果の期待



はじめに①についてですが、二人用から四人用までそれぞれを個別化し、互いにゆとりのある空間としたことでプライバシーの保護にも有効と考えました。また、受付前や診察室前は従来どおりの長椅子タイプを採用しております。

次に②は、素材と品質、高さなど幅広い利用者の方に対応する物とし、待ち時間の負担軽減を考慮いたしました。また、売店横にある待合室にはカウンターテーブルと丸テーブルを設置し、個人あるいは複数の方々が食事や読書などそれぞれお好みのスタイルで待ち時間を利用していただける場所といたしました。



最後に③ですが、ロビーや神経科前はシックで落ち着いたデザインとし、内科や検査室前は差し色を取り入れ、モダンさをイメージしました。売店横の待合は明るい空間を意識しカラフルな色を採用しております。他には無い癒しのある空間となるよう取り揃えましたので、皆さま是非ご利用ください。

かもしれませんよ。

「いっ」褒美がもらえるか分からない「この不確かさが「今度こそ」と気持ちに火をつける…そう、パチンコもいっしょです。今度の連休中にパチンコ三昧で、台から離れなくなったら「でたらめにエサを与えられているネズミと同じ」そう思い出してください。少しは冷静になれる

なつてバーを押すのです。

「強化の原理」が働いています。たとえばネズミがバーを押すごとにエサを与える、そうすることでバーをたくさん押させるようにする。これを強化といいます。この時三十回に一回というように一定の比率でエサを与えるより、十七回に一回→四十七回に一回…と、でたらめにした方がネズミは夢中になつてバーを押すのです。

パチンコ、競馬、こうした賭け事にのめりこむ背景には心理学でいう「強化の原理」が働いています。

「ちきしょう、今日はついでない」「でも、今度こそ…」そのうちにサイフの中身はすっからかん。

パチンコ、競馬、こうした賭け事にのめりこむ背景には心理学でいう「強化の原理」が働いています。

復刻版シリーズ2009年4月

ISHII HOSPITAL

医療法人社団 静和会 石井病院

INFORMATION



今月は、それぞれの病棟でお花見レクを行いました。毎月、患者さまのお身体や心の状態に合わせた行事を行っています。左の写真は、お花見レクの一例です。

普段、外に行く機会が少ない患者さまは気分転換されていたようです。また、創作物を作ったり栄養科協力の下、昼食に花見弁当を食べていただくなど、屋内でも季節を感じられるようなレクになりました。

外来担当医師のお知らせ

受付時間	月	火	水	木	金
神経科外来					
午前	予約制 臼井鉄郎	予約制 山本健治	予約制 林 裕	予約制 臼井鉄郎	予約制 林 裕
8:45~12:00					
午後		予約制 林 裕	予約制 山本健治	川村敏明	
1:30~3:00					
もの忘れ外来					
午後	予約制 臼井鉄郎				
1:30~3:00					
内科外来					
午前	久保田昌宏	久保田昌宏	久保田昌宏	久保田昌宏	久保田昌宏
8:45~12:00					
午後					石井幸司
1:30~3:00					



編集後記

初夏というのに寒さが続く6月初旬となりましたが、皆さま風邪など引いていませんか？北海道の夏は短いので、毎年何をしようかと考えているうちにいつも夏が終わっています。(泣)

多分、今年も野球三昧で終わってしまいますが・・・

こだま編集委員長 佐藤 友宏

編集／発行 平成 29 年 6 月 15 日 発刊

医療法人社団 静和会 石井病院 編集委員会

〒056-0022 日高郡新ひだか町静内高砂町 3 丁目 3-1

TEL(0146)42-3031 FAX(0146)43-3389

ホームページ: <http://www.ishii-hp.jp/>

編集委員長 佐藤 友宏



医療法人
静和会

石井病院